

科目名称:	英語基礎	
担当者名:	王 玉	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
留学生別科の皆さんは日本に来て、日本語を一生懸命勉強しているかと思います。将来国際的な仕事をしたいと考えている人も多いでしょう。英語はグローバル社会においては必要不可欠です。英語の基礎をしっかりと学び、必要な時に使えるように備えておきましょう。		
授業の達成目標・到達目標		
会話や英作文、そして基本文法など、国際ビジネス業務に必要な英語を身につけます。		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		40		60	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
英語の基本文法をマスターする	基本文法について使いこなすことができる。	基本文法についてだいたい使いこなすことができる	基本文法についてある程度使いこなすことができる	基本文法についてまだ理解できていない
基礎英語による会話ができる	日常生活において分かる程度で英会話ができる	日常生活においてある程度で英会話ができる	日常生活において英会話がちょっとだけできる	日常生活において英会話がぜんぜんできない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 自己紹介 (be, there is/areの構文を中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「自己紹介」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第2回 家族のこと (動詞の現在形と進行形を中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「家族のこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第3回 日本のこと (ビジネス英語 基礎一) (スピーチ・プレゼンテーション)	「日本のこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第4回 世界のこと (ビジネス英語 基礎二) (電子黒板使用) (スピーチ・プレゼンテーション)	「世界のこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第5回 将来のこと (ビジネス英語 基礎三 未来形を中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「将来のこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第6回 アルバイトのこと (日常会話 wantとbe going to do smthの構文を中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「アルバイトのこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第7回 好きな食べ物 (get, let, makeなどの動詞とその慣用語を中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「好きな食べ物」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第8回 好きなスポーツ (英語のスポーツ用語とその表現) (スピーチ・プレゼンテーション)	「好きなスポーツ」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第9回 行ってみたい国 (旅行用英語、常用語) (スピーチ・プレゼンテーション)	「行ってみたい国」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第10回 人生で一番嬉しかったこと (can, may, wish, hopeを中心に) (スピーチ・プレゼンテーション)	「人生で一番嬉しかったこと」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第11回 最近のニュース (英語の新聞用語とその構文1) (スピーチ・プレゼンテーション)	「最近のニュース」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第12回 最近のニュース (英語の新聞用語とその構文2) (スピーチ・プレゼンテーション)	「最近のニュース」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第13回 最近のニュース (英語の新聞用語とその構文3) (スピーチ・プレゼンテーション)	「最近のニュース」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第14回 最近のニュース (英語の新聞用語とその構文4) (スピーチ・プレゼンテーション)	「最近のニュース」英作文、スピーチを行います。その準備をすること。	60分
第15回 夏休みのプラン (plan to do, be ready to doなどの構文) (スピーチ・プレゼンテーション)	「夏休みのプラン」について英語でレポートにまとめること。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、英作文・スピーチ(プレゼンテーション)の準備をすることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業内での課題やスピーチ(プレゼンテーション)で評価する (60%)。小テスト (40%)

#### 課題に対するフィードバック

回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。

#### 教科書・参考書

毎回プリントを配付する。